

【新規格付け】 水資源機構

第6回水資源債券： AA+

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け理由】

国の基本計画に従って利根川などの7つの水系でダム、用水路などの施設を建設・管理する独立行政法人。国民の生命に直結する治水、利水事業を行っており、政策上の重要性は非常に高い。

建設費用は国と利水者で分担し、建設完了後、利水者分担分の建設費用を割賦負担金という形で回収している。利水者のほとんどは地方自治体であり、回収に伴うリスクは極めて小さい。金利変動リスクへの備えもできている。ダムや用水路の建設は多くの自治体や省庁が関係し、その調整が難しいうえ、巨額な資金を必要とし、自治体や民間による事業の代替は困難と言える。ただ、建設事業は2015年度に終了する予定で、徐々に管理主体の法人に移行していくことになる。管理主体の法人に移行後も政府の支援姿勢に変化はないと見ているが、独立行政法人全般の見直し論議などもあり、政府との関係は引き続き慎重に見守っていく。

【格付け対象】

発行者：水資源機構

| | |
|------|---|
| 名称 | 第6回水資源債券 |
| 発行額 | 90億円 |
| 発行日 | 2008年12月4日 |
| 償還日 | 2011年12月20日 |
| 表面利率 | 1.06% |
| 格付け | AA+（新規） |
| 受託会社 | みずほコーポレート銀行 |
| 担保 | 一般担保 |
| 備考 | 会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、 独立行政法人水資源機構法に基づく受託会社が置かれる |

☆発行体格付け： AA+ [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。